イノベーションを情報で支援する会社。
axetimes & Partners

報道関係者各位
プレスリリース

2026年11月16日
アックスタイムズ株式会社

バイオものづくり製品市場を調査｜化学・医薬・食品・燃料など

バイオものづくり・バイオエコノミー・バイオテクノロジー業界向け市場調査報告書を発行

市場の実態に迫る「足で稼いだ独自情報」と市場の本質を捉える「体系化・構造化された情報設計」を重視した情報ナレッジサービスを提供する、市場調査会社のアックスタイムズ株式会社（所在地：大阪府大阪市中央区、代表取締役：橋本規宏）は、主要なバイオものづくり製品の市場調査結果をまとめた調査報告書「次世代バイオものづくり産業の技術・市場・政策分析 及び 事業戦略立案支援調査 2026-2027年版［No.1 製品市場編］」を、2026年10月21日にリリースしました。
本調査結果は、レポート販売されるほか、資源循環・バイオエコノミーを推進している企業・経済団体・自治体向けに、調査結果の内容を含む講演・セミナーとしても商品展開されます。
なお、「解説ウェビナー」の特別開催を後日予定しており、対象の調査報告書を事前にご購入いただいた方をご招待します。詳しくは本プレスリリースの後半の案内をご覧ください。



［調査報告書から得られる内容］

・バイオものづくり製品の市場規模・将来予測・シェア等の調査結果を整理｜本報告書の内容
・バイオ化製品を支える要素技術の研究開発進捗・潜在市場性を可視化｜別途報告書で予定
・革新的な技術開発を進めるスタートアップ事例を網羅的に整理｜別途報告書で予定

［こうした方にオススメ］

・工業化学系｜医薬品系｜食品・農業・消費財系｜燃料・エネルギー系の事業者
・微生物｜細胞｜酵素・触媒｜タンパク質｜バイオマス原料に関連する事業会社
・経営企画部｜事業企画部｜新規事業部｜研究開発部｜研究者・技術者の方々

※本プレスリリースの後半では、調査報告書の一部を無料で確認していただける「購入検討サポート」の案内を掲載しております。

■調査背景・目的

世界的な人口増加や資源・食料需要の拡大に加え、脱炭素化、資源循環、経済安全保障への対応を背景として、微生物・細胞・酵素などの生物機能を活用する次世代の製造技術「バイオものづくり」への注目が高まっています。

化学品、食品、燃料などでは持続可能性の向上、医薬品では生物機能を活用したバイオ医薬品として技術開発が進んでいる一方で、生産コストやスケールアップ、原料調達といった商業化に向けた課題も多く残されています。

本調査は、バイオ化製品の市場を分析する「No.1 製品市場編」と、それらを支える要素技術を網羅的に調査する「No.2 要素技術編」を中心に構成され、製品市場と要素技術の両面から整理・分析することで、バイオものづくり産業の市場機会と技術課題の理解を促す調査設計としました。

本調査の「No.1 製品市場編」では、バイオものづくり技術を活用した主要 15 製品市場を対象に、技術・市場・企業・政策などの観点から体系的に調査しました。これらの情報を総合的に整理・分析した調査結果を提供することで、事業会社の事業戦略・技術戦略の策定を情報面から支援することを目的に実施しました。

■調査結果（抜粋）

微生物産生プラスチック｜世界市場｜2050 年予測 8,000 億円

製品名	2025 年 実績	2026 年 見込	[2050 年] 予測	[2050 年] 2025 年比	CAGR 2050 年/2025 年
微生物産生プラスチック	400 億円	500 億円	8,000 億円	20.0 倍	12.7%

［アックスタイムズ推定］

微生物産生プラスチックは微生物が直接生産する生分解性樹脂として商用生産が進んでおり、2025 年の世界市場規模は 400 億円と推定しました。生産効率の向上やコスト低減の課題もあり、商業規模での供給企業は限定的であるものの、海洋や土壌へのプラスチック流出による環境負荷を低減するニーズも高まっています。今後は、包装・容器、ストロー、日用品等で商用採用が広がることで、2050 年には世界市場規模は 8,000 億円に成長すると予測されます。

細胞医薬品｜世界市場｜2050 年予測 12.0 兆円

製品名	2025 年 実績	2026 年 見込	[2050 年] 予測	[2050 年] 2025 年比	CAGR 2050 年/2025 年
細胞医薬品	1.2 兆円	1.4 兆円	12.0 兆円	10.0 倍	9.6%

［アックスタイムズ推定］

細胞医薬品は難治性の血液がんを対象とする CAR-T の商用化が先行し、2025 年の世界市場は 1.2 兆円と推定されます。高額な治療費に加え、治療対象となる疾患・患者が限られることが普及拡大の課題となっています。CAR-T 以外にも iPS 細胞を活用した治療など、新たな製品の実用化に向けた開発が進んでおり、今後は固形がんや自己免疫疾患への適用拡大、再生医療への展開が進むことで、2050 年には世界市場規模は 12.0 兆円にまで拡大すると予測されます。

培養食品｜世界市場｜2050 年予測 5.5 兆円

製品名	2025 年 実績	2026 年 見込	[2050 年] 予測	[2050 年] 2025 年比	CAGR 2050 年/2025 年
培養食品	1.5 億円	4.0 億円	5.5 兆円	36,666.7 倍	52.3%

［アックスタイムズ推定］

培養食品は動物の細胞を培養して肉・魚介・脂肪等を製造する新たな食品生産手段として注目されています。一部の国・地域で製品化が始まっているものの、従来の畜水産物との価格差が大きいことに加え、販売承認制度の整備や社会受容性の課題があり、2025 年の世界市場は 1.5 億円にとどまりました。今後は培地の低コスト化や量産技術の進展、販売可能地域の拡大を背景として、加工食品や一般消費者向けへの展開が進むことで、2050 年には世界市場は 5.5 兆円にまで拡大すると予測されます。

バイオ由来ガス燃料｜世界市場｜2050 年予測 8.0 兆円

製品名	2025 年 実績	2026 年 見込	[2050 年] 予測	[2050 年] 2025 年比	CAGR 2050 年/2025 年
バイオ由来ガス燃料	1.2 兆円	1.4 兆円	8.0 兆円	6.7 倍	7.9%

［アックスタイムズ推定］

バイオ由来ガス燃料は、食品廃棄物や家畜排せつ物等を資源化し、天然ガスを代替する燃料として欧米で商業利用が進んでいます。欧州では既存のガス導管への注入、米国では輸送燃料向けの供給が先行し、2025 年の世界市場は 1.2 兆円と推定されます。今後は原料の安定確保や生産コストの低減、ガス導管への接続拡大が市場成長の鍵となり、2050 年には世界市場は 8 兆円にまで拡大すると予測されます。

■調査項目［No.1 製品市場編］

Ⅰ. 総合分析

01. 次世代バイオものづくり製品市場の将来展望
（1）将来展望
（2）調査結果（市場・技術・政策）
02. 次世代バイオものづくり製品市場の構造図解
03. バイオ化技術分析（生物由来原料利用｜微生物利用｜細胞利用｜酵素・セルフリー利用）
（1）主要バイオ化技術の製品化動向
（2）製品別バイオ化技術採用一覧
04. 分野別バイオ市場分析（市場規模・CAGR・バイオ化背景・需要開拓動向・今後の方向性）
05. 全体市場規模推移（2025 年～2030 年｜2035 年｜2040 年｜2045 年｜2050 年、世界・日本、金額）
06. 分野別市場規模推移（2025 年～2030 年｜2035 年｜2040 年｜2045 年｜2050 年、世界・日本、金額）
A. 工業化学系
B. 医薬品系
C. 食品・農業・消費財系
D. 燃料・エネルギー系

07. 指標スコア分析（市場・技術・政策・需要・供給スコア）
（1）分野別指標スコア比較
（2）製品別指標スコア一覧
08. 製品別指標スコア比較
（1）市場スコア｜MML ベース
（2）技術スコア｜TRL ベース
（3）政策スコア｜PML ベース
（4）需要スコア｜DML ベース
（5）供給スコア｜SML ベース
09. 市場スコア推移・技術スコア推移
10. 主要地域の市場スコア分析（米国・欧州・日本・中国・韓国）
（1）主要地域の分野別市場スコア比較
（2）主要地域の製品別市場スコア一覧
11. PMF スコア分析
（1）分野別 PMF スコア比較
（2）製品別 PMF スコア一覧
12. 製品別用途整理
13. 製品別参入企業整理
14. 主要地域の政策分析（米国・欧州・日本・中国・韓国）
（1）主要地域の政策比較
（2）主要地域の製品別政策スコア一覧
15. 主要地域の製品別政策整理（政策スコア｜主要政策｜目標・指標）
（1）米国
（2）欧州
（3）日本
（4）中国
（5）韓国

Ⅱ．製品市場分析

[工業化学系]
01. 微生物産生プラスチック（PHA）
02. バイオ由来プラスチック（非 PHA）
03. バイオサーファクタント（ソホロリピッド・ラムノリピッド・MEL 等）
04. バイオ設計タンパク質繊維（生体個体生産型・発酵生産型）
[医薬品系]
05. 細胞医薬品（免疫細胞治療・幹細胞由来治療）
06. 次世代抗体医薬品（ADC・二重特異性抗体等）
07. 核酸医薬品

[食品・農業・消費財系]
08. 培養食品（培養肉・培養魚介・培養脂肪等）
09. 機能性食品素材（HMO・機能性ペプチド・プロバイオティクス・プレバイオティクス・ポストバイオティクス等）
10. 発酵タンパク（精密発酵タンパク・菌体タンパク）
11. バイオ由来素材原料（食品原料・化粧品原料・香料原料等）
12. バイオ農薬（微生物農薬・発酵由来農薬）
[燃料・エネルギー系]
13. 次世代バイオエタノール（非可食・未利用バイオマス）
14. バイオ由来 SAF
15. バイオ由来ガス燃料

［共通調査項目］（対象：Ⅱ. 製品市場分析）
01. 定義・概要
02. バイオ化される原料・製造工程
03. 指標スコア
（1）市場・技術・政策・需要・供給スコア（2025 年）
（2）市場・技術スコア推移（2025 年｜2030 年｜2035 年｜2040 年）
04. 当該製品が必要とされている理由
05. PMF スコア＆PMF 要件
06. 次世代バイオ化比率推移（2025 年｜2030 年｜2035 年｜2040 年｜2045 年｜2050 年、世界）
07. 市場規模推移・地域別動向
（1）市場規模推移（2025 年～2030 年｜2035 年｜2040 年｜2045 年｜2050 年、世界・日本、数量・金額）
（2）地域別動向（2025 年、米国・欧州・日本・中国・韓国、市場スコア）
08. 用途動向
09. 参入企業シェア（2025 年）
10. 参入企業動向
11. 政策動向（米国・欧州・日本・中国・韓国）

■調査概要 ※詳細は商品サイトをご確認ください

調査目的　｜バイオものづくりの技術・市場・政策・事例を体系的に理解することによる情報支援
調査対象　｜15 製品（工業化学系：4 製品、医薬品系：3 製品、食品・農業・消費財系：5 製品、燃料・エネルギー系：3 製品）
調査範囲　｜世界（主に米国・欧州・日本・中国・韓国）
為替前提　｜市場規模の算出では、2025 年は 150 円/USD（年平均）を前提とした。
　　なお、2026 年は 155 円/USD を想定し、2027 年以降の為替変動および物価変動は考慮せず。
指標スコア｜5 指標を指標ごとに 1～9 で評価（市場・技術・政策・需要・供給）
ＰＭＦスコア（Product-Market Fit：製品価値の市場適合と事業再現性）｜
　　本調査では、「PMF 要件」を独自に定義し、PMF の達成度を定量的に可視化するため、
　　各要件の達成状況に基づいてスコア化（最大評価 9.0）している。
調査方法　｜業界インタビューで得た独自情報および公開されている一次資料を基に専門市場調査員が整理・分析

調査期間　｜2026 年 8 月～2026 年 10 月
調査実施　｜アックスタイムズ株式会社

■商品概要

調査報告書名：次世代バイオものづくり産業の技術・市場・政策分析 及び 事業戦略立案支援調査 2026-2027 年版［No.1 製品市場編］
発行日　　：2026 年 10 月 21 日
体裁　　：PDF_Slide16:9_155pages
価格　　：事業所ライセンス版 PDF　税込 99,000 円（税抜 90,000 円）
企業ライセンス版 PDF　税込 148,500 円（税抜 135,000 円）
グループライセンス版 PDF 税込 247,500 円（税抜 225,000 円）
商品サイト：https://axetimes.com/report/research-about-biomanufacturing-technology-and-market-global-2026-2027/

［FAQ：「調査報告書×AI 活用」につきまして］

本調査報告書は PDF 形式で提供しています。ご購入いただいたライセンスの種類やご利用の AI 環境によっては、調査報告書を AI に読み込ませ、情報収集や社内活用をより効率化できます。
例えば、調査報告書を AI に読み込ませることで、以下のような活用が可能です。
・調査レポート情報を活用した社内ドキュメント作成
・調査レポートを読み込んだ専門家（AI）と事業相談
・分かりやすい音声解説で社内に情報共有　など
AI での利用可否や対象となる環境・設定、ライセンスの種類などについては、「「調査報告書×AI 活用」に関するガイドライン」をご確認ください。
ガイドライン：https://info.axetimes.com/hubfs/support/CS_AI-guideline.pdf

［FAQ：購入検討サポート］（無料）

本調査報告書のご購入をご検討いただくにあたり、コンサルタントとのオンライン面談にて内容をご確認いただけます。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。
サポートに相談する：https://forms.cloud.microsoft/r/5sy9AVhmxn（Microsoft Forms）

■解説ウェビナーのご案内「バイオものづくり市場の調査結果 2026-2027」

対象の調査報告書をご購入の企業・団体を対象に、2027 年 2 月 15 日に解説ウェビナーを実施する予定です。参加対象となる企業・団体へは、事前に詳細のご案内をお送りします。
対象の調査報告書：次世代バイオものづくり産業の技術・市場・政策分析 及び 事業戦略立案支援調査 2026-2027 年版［No.1 製品市場編］

[解説ウェビナー概要]（予定）

テーマ　：バイオものづくり市場の調査結果 2026-2027
内容　　：調査報告書の解説（重要ポイント、使い方）、質疑応答
開催日時：2027 年 2 月 15 日（月曜日）15:00～16:30 を予定 ※配信は録画される予定

開催方法：オンライン配信（Teams を予定）
登壇者　：アックスタイムズ株式会社 資源循環・バイオエコノミー担当（調査報告書の制作担当者）
参加料　：無料（ただし、調査報告書をご購入の企業・団体の方々のみ）※録画の解説動画は有料販売を予定
テキスト：ご購入になった調査報告書
参加対象：2027 年 2 月 12 日（金曜日）までに対象の調査報告書をご購入の企業・団体
(事業所ライセンス版をご購入の事業所内でご関連の方々：最大 5 名)
(企業ライセンス版をご購入の企業・団体内でご関連の方々：最大 10 名)
(グループライセンス版をご購入の企業・団体内でご関連の方々：最大 15 名)
お問い合わせ事務局：アックスタイムズ株式会社 支援チーム 050-3555-6200

■カスタム調査相談のご案内（市場調査代行）
アックスタイムズでは、調査結果の知見を生かし、事業企画・研究開発を情報面から支援する「市場調査代行」のご相談も可能です。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。
カスタム調査のご相談方法など： https://axetimes.com/note/about-axetimes-research/
専門家に相談する：https://forms.cloud.microsoft/r/E9PJpWNJ5m（Microsoft Forms）

■企業・経済団体・自治体・展示会運営会社の皆さま
資源循環・バイオエコノミー施策を推進している企業・経済団体・自治体・展示会運営会社の皆さまから、調査結果を踏まえた講演・セミナーのご相談も承っております。
講演のご相談：https://axetimes.com/event-team/

■メディアの皆さま
調査で培った専門的な知見を、実務や社会動向と結びつけてわかりやすく伝えることを重視し、取材対応・専門家コメントの提供などを承っております。
取材・寄稿のご相談：https://axetimes.com/press-team/

■会社概要

商号	：	アックスタイムズ株式会社
代表者	：	代表取締役　橋本 規宏
所在地	：	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4 丁目 2 番 12 号 野村不動産御堂筋本町ビル 8 階
設立	：	2021 年 4 月 26 日
事業内容	：	調査レポート販売、市場調査代行、伴走型情報支援サービス、 市場調査研修、Web メディア
公式 WEB	：	https://axetimes.com

【本件に関するお問い合わせ先】
アックスタイムズ株式会社
TEL：050-3555-6200
お問い合わせフォーム：https://axetimes.com/contact-form/